

## 「高齢者を交通事故から守るための安全・安心協力式」を開催

～ 静岡県警察本部などと合同で交通安全啓発活動を実施 ～

日本損害保険協会中部支部静岡損保会（会長：牛島 大介・三井住友海上火災保険株式会社 静岡支店長）では、3月17日（火）に静岡県警との高齢ドライバーサポート協定にもとづき、交通事故防止に資するチラシ3万部を協力式で寄贈しました。

静岡県警交通部長室で開催された協力式では、牛島損保会長よりチラシの披露があり、『高齢者の皆様が被害者、あるいは加害者となってしまふ交通事故をいかに防ぐかは、喫緊の課題であると認識している。万が一の事故への備えはもちろんのこと、それ以上に「事故を未然に防ぐこと」が重要であると考えており、このチラシが、県民の皆様の交通安全意識の向上に繋がり、静岡県内の悲惨な交通事故が一件でも減少することを切に願っている。』との挨拶がありました。

引続き静岡県警鈴木交通部長から、「交通事故においては、高齢者対策がやはり最重要な課題であると思っている。いただいたチラシを活用して高齢者に対し周知徹底させていただくとともに、引き続き静岡損保会との連携により、静岡県に事故がないよう取り組んでいきたい。」との挨拶がありました。

協力式終了後は、JR静岡駅コンコースへ場所を移し、チラシを使用して、高齢者に対して自転車ヘルメットの着用および夕暮れ時・夜間の反射材着用、4月からはじまる自転車の交通違反に対する「青切符」制度等と呼び掛ける交通安全啓発活動を実施しました。

当支部では、今後も、静岡県警ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



挨拶をする牛島損保会長



鈴木交通部長へチラシを寄贈する牛島損保会長(右)



安全・安心協力式の様子  
前列：牛島損保会長(左)、鈴木交通部長(右)



J R静岡駅コンコースでの啓発活動の様子



チラシ表面



チラシ裏面